

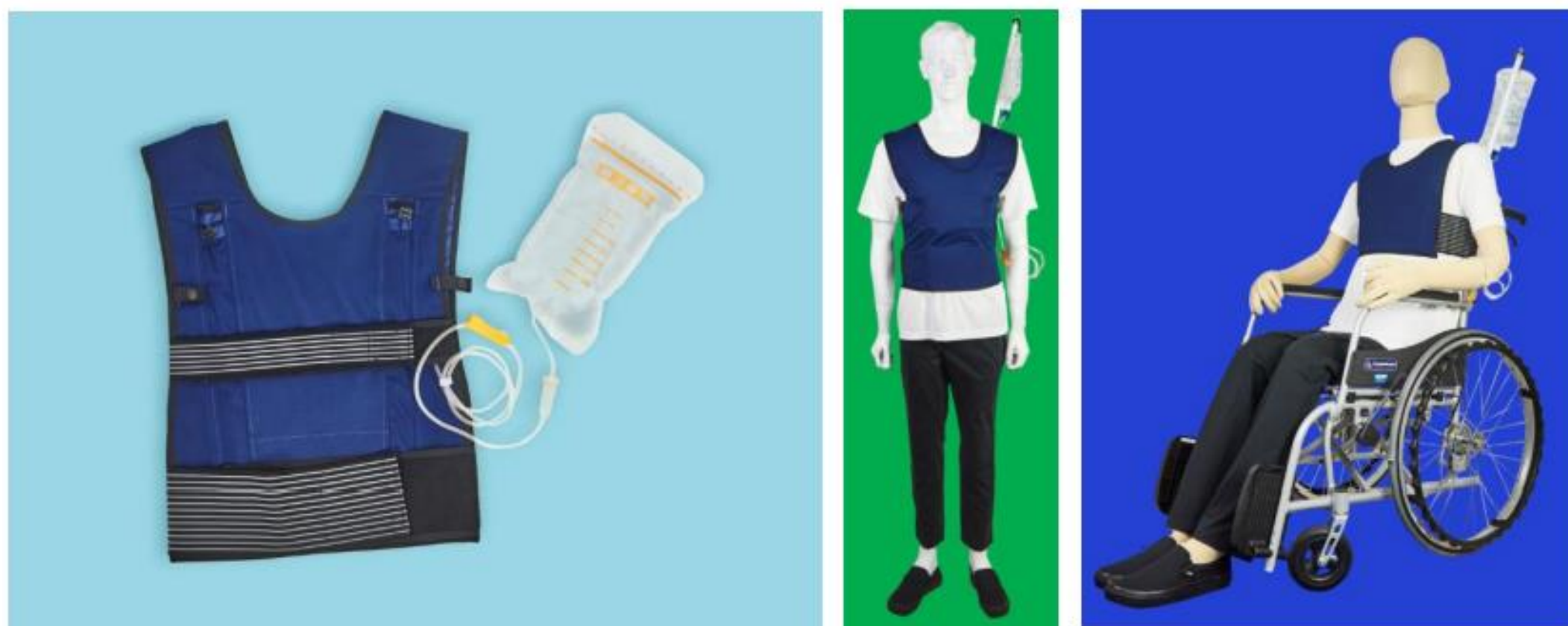
以下のとおり、プレスリリースいたしました。

2022.10.5

新型コロナ禍でひっ迫した医療現場を救いたい！
創業 116 年の老舗企業・ボンマックスが開発した、
転倒リスクなどを軽減させる着用型点滴ウェア『点滴ベスト』

～2022 年 8 月国際特許申請、10 月「メディカルジャパン東京」にて発表～

株式会社ボンマックス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：外川雄一、以下ボンマックス）は、2022 年 10 月より、点滴をしながらでも動きまわれる、着用型点滴ウェア『点滴ベスト』を販売開始いたします。それとともない、同製品を 2022 年 10 月 12 日(水)～10 月 14 日(金)に開催される『メディカルジャパン東京（場所：幕張メッセ）』において初展示いたします。



“新しい点滴スタイル”を提案する、着用型点滴ウェア『点滴ベスト』（通常タイプと車いすタイプの 2 種類あり）

▶ 詳細はコチラ <https://information.bonmax.co.jp/tentekivest>

◇ 開発経緯

コロナ禍において、医療現場のひっ迫が取り沙汰される状況となりました。そんな中、点滴スタンドの不自由さに対して、当社社長の友人から“あるアイデア”が持ち込まれ、働く人のユニフォームをつくるボンマックスは、この課題を解決すべく着手。そこで医療現場へのリサーチをおこなう中、入院した際の点滴スタンド使用には、移動の不安定さによる危険、使用時の騒音、事あるごとに看護師を呼ばなければならない不便さ、などの問題が存在していました。そこで当社では、約 2 年の歳月をかけ、医療従事者や患者へのヒアリングを繰り返しながら、本製品を商品化。かさねて、本製品によって、新型コロナ禍によってひっ迫する医療現場への負担軽減を目指しています。

◇目的

点滴治療時の問題点を解決し、患者によって点滴スタンド使用时よりも安心安全な入院生活を提供することが可能となり、患者にとって不自由のない入院生活に貢献する事が期待されます。

◇本製品のメリット

- ① 患者の移動時の転倒リスクの軽減
- ② 1人で着脱できる容易さ（通常モデルのみ）
- ③ トイレなど狭いところでも対応可能
- ④ 両手が使えるようになる
- ⑤ スタンドでの移動音が無くなるので周囲を気にせず行動できる
- ⑥ 階段などの段差やエレベーターのドアの溝も気にせず移動可能
- ⑦ 点滴スタンドから点滴ベストへの切り替え可能
- ⑧ 看護師を呼ぶ機会が減ることにより、医療従事者の負担も軽減される

◇製品概要

<通常タイプ>



(前)

(後ろ)

上代： ¥ 24,800（税込 ¥ 27,280）

カラー：ネイビー

サイズ：フリー

素材：

（表地）ポリエステル 100%/高通気制電トリコット

（裏地）ナイロン 100%/オックス

（中地）ポリエステル 100%

（ポール）ポリ塩化ビニル

<車いすタイプ>



(前)

(後ろ)

※同上

～着用手順～



・ベストを着用



・前ベルトを装着する



・点滴を棒の先にセット



・管をスナップで止める

★ 報道関係者様へ

**2022 年 10 月 12 日～14 日・幕張メッセで開催の「クリニック EXPO」
にブース出展します。開発担当者が、実際に商品を着用しながら説明し、
もちろん撮影も可能です！**

※ご来場の際は、事前に下記問い合わせ先までご連絡いただけますと幸いです。

『クリニック EXPO』出展ブースについて（主催:RX Japan 株式会社）

会期：10 月 12 日(水)～10 月 14 日(金) 10：00～18：00 ※最終日は 17：00 まで

会場：幕張メッセ 小間番号：12-17

公式サイト：<https://www.medical-jpn.jp/tokyo/ja-jp/about/cli.html>

【本件に関する問合せ先】

株式会社ボンマックス 営業本部 開発室 岡本真太郎 TEL: 080-9047-6576 Mail: s.okamoto@bonmax.co.jp